

市街地拡大図

緑地の保全及び緑化の推進のための施策



緑化重点地区

秩父地域の中心地として多くの観光客でにぎわう中心市街地（都市機能誘導区域）では、秩父地域の玄関口として景観向上と防災機能も兼ねたオープンスペースを確保し、ウォークラブルで魅力的な都市空間形成に取り組みます。



凡例

- 緑の基本計画
- 緑化重点地区
- 保全配慮地区
- 水のエコロジカル・ネットワーク形成軸
- 街路樹による緑のネットワーク形成軸
- 無電柱化など賑わいのある街路空間
- 豊かな水を活かしたまちづくりの方向性
- 街区公園250mバッファ
- ジオパーク秩父
- ジオサイト
- 都市公園(供用済)
- 埼玉県
- 秩父市
- その他の施設緑地
- 学校
- 体育施設(敷地)
- 児童遊園(市税条例)
- 公共施設緑地
- 都市計画
- 都市計画区域
- 用途地域界
- 居住誘導区域
- 都市計画施設(公園)
- 条例による地域制緑地
- 環境保全区域
- 清流保全地域
- 都市計画基礎調査土地利用現況
- 田・畑・山林

保全配慮地区

埼玉県が公表する家屋倒壊等氾濫想定区域のうち、荒川の市街地側と横瀬川に沿った区域に保全配慮地区を設定し、人命の安心・安全と秩父地域の景観を特徴づける河成段丘崖の保護を図ります。



民地の活用(児童遊園・空き地等)

境内地などを活用した本市独自の”児童遊園”制度を維持しつつ、増加が見込まれる空き家・空き地をまちづくりに生かす取組みを進め、地域の身近なオープンスペース確保に取り組みます。

大規模都市公園

広域的に利用される郊外の大規模都市公園(羊山公園・聖地公園・秩父ミュージックパーク)は、効率的な維持管理に注力しつつ誘客施策の実施により地域経済の活性化を図ります。

都市公園以外の公園

ちちぶキッズパークなど都市公園以外の公園は、再整備や維持管理にかかる安定財源確保のため都市公園化など国の支援施策の活用を検討します。



令和7年(2025年)
全国植樹祭開催地

秩父ミュージックパークスポーツの森公園



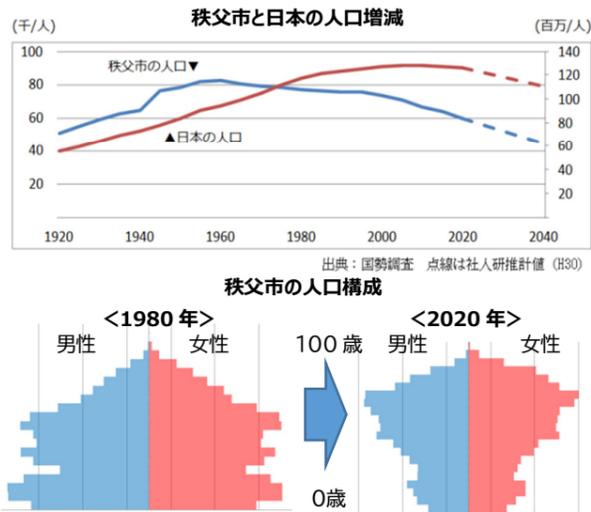
■ 緑地の現況と課題

■ ちちぶの緑は国家的財産

本市の自然は「生態系の宝庫」というだけでなく、首都東京を守る「治水」の上でも重要な役割を持っています。本市では、この特性を生かした様々な取り組みが行われています。

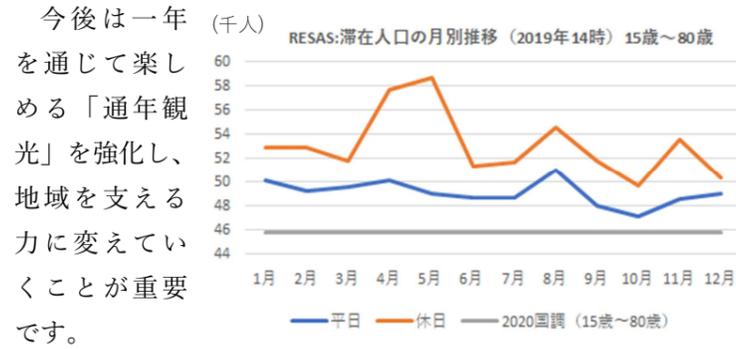


■ 進む少子高齢化と人口減少



■ 地域経済を支える「緑」と「公園」

本市の都市公園・自然公園には、市内外から多くの観光客が訪れ地域経済に好影響をもたらしていますが、人流が芝桜開花時期に偏っています。



課題

市街地では…
空き地・空き家の増加
市街地では依然として身近な公園が不足

さらに山間地では…
人間の活動領域減少
集落の無居住化

方向性

まちづくりに役立てられないか
→道路・公園用地
→集約し宅地として再生
住環境の向上

文化・自然・生態系の保全と活用
→自然環境の保全と共生
→乱開発の抑止
国土の管理と利活用

■ 緑地とオープンスペース施策の目標と計画の進行管理

■ 定量的な目標値の設定とPDCAサイクルの実施 (概ね5年ごと)

定量的な目標値を設定しその実現に努め、概ね5年ごとに進捗状況を検証(都市計画マスタープラン・立地適正化計画と同時)しつつ、単年度においても主要な施策の成果報告において概況を報告します。

目標	評価指標	基準値 (2022年)	効果値 (2041年)
保全	児童遊園等の設置数	19箇所	19箇所
	緑被率 (都市計画基礎調査)	94%	94%
創出	都市機能誘導区域内の公園等設置数	4箇所	6箇所
	空き地等を活用したオープンスペース	0箇所	4箇所



秩父市緑の基本計画

2023 (令和5) 年度～2042 (令和24) 年度

都市緑地法第4条に基づく都市計画区域内の「緑とオープンスペース」施策における基本構想

緑の将来像

みらいに繋ごう

ちちぶの歴史を伝える豊かな緑

実現のための4つの基本方針

豊かな自然と人の暮らしが
共生する持続可能(SDGs)なまち

訪れる楽しみと学びの



守り慈しむ秩父山地の自然



緑を使った
まちづくり



<概要版>